

| 検査項目 | 基準範囲 | 単位 | 検査の意味・目的 | |
|--------------|-------------------|-------------------------------|-----------------|--|
| TP | 総蛋白 | 6.6~8.1 | g/dL | 栄養状態や肝機能を反映します。 |
| ALB | アルブミン | 4.1~5.1 | g/dL | 栄養状態や肝機能や腎機能を反映します。 |
| トランスフェリン | トランスサイレチン | 男23~42 女22~34 | mg/dL | 栄養状態や肝臓のタンパク合成能の把握に用います。 |
| LD | 乳酸脱水素酵素 | 124~222 | U/L | 肝疾患、心疾患、血液疾患、筋肉の損傷で上昇することがあります。 |
| AST | アスパラギン酸アミノ転移酵素 | 13~30 | U/L | 肝疾患や心筋疾患で上昇することがあります。 |
| ALT | アラニンアミノ転移酵素 | 男10~42 女7~23 | U/L | 肝疾患で上昇することがあります。 |
| TB | 総ビリルビン | 0.4~1.5 | mg/dL | 肝疾患や胆のう系の疾患で上昇することがあります。 |
| DB | 直接ビリルビン | 0.0~0.4 | mg/dL | 肝疾患や胆のう系の疾患で上昇することがあります。 黄疸の鑑別に用います。 |
| γGT | γ-グルタミルトランスペプチダーゼ | 男13~64 女9~32 | U/L | 肝疾患で上昇することがあります。飲酒歴を鋭敏に反映します。 |
| ALP | アルカリフォスファターゼ | 106~322 | U/L | 肝疾患、胆道疾患、骨疾患で上昇することがあります。成長期の小児で上昇することがあります。 |
| ChE | コリンエステラーゼ | 男240~486 女201~421 | U/L | 肝疾患で低下することがあります。脂肪肝で上昇することがあります。 |
| NH3 | アンモニア | 12~66 | μg/dL | 肝疾患で上昇することがあります。 |
| UN | 尿素窒素 | 8~20 | mg/dL | 腎疾患で上昇することがあります。 |
| Cr | クレアチニン | 男0.65~1.07 女0.46~0.79 | mg/dL | 腎疾患で上昇することがあります。 |
| UA | 尿酸 | 男3.7~7.8 女2.6~5.5 | mg/dL | 腎疾患や尿酸の代謝異常で上昇することがあります。 |
| Na | ナトリウム | 138~145 | mmol/L | 体内の水分調節の働きを調べます。 |
| K | カリウム | 3.6~4.8 | mmol/L | 筋肉や神経伝達の働きを反映します。 |
| Cl | クロール | 101~108 | mmol/L | 酸塩基平衡の状態を反映します。 |
| Ca | カルシウム | 8.8~10.1 | mg/dL | 生体内代謝やホルモン分泌の状態を調べます。 |
| IP | リン | 2.7~4.6 | mg/dL | 生体内代謝やホルモン分泌の状態を調べます。 |
| Mg | マグネシウム | 1.9~3.1 | mg/dL | 生体内代謝やホルモン分泌の状態を調べます。 |
| TC | 総コレステロール | 142~248 | mg/dL | 肥満や動脈硬化性疾患の診断や経過の判定に用います。 |
| HDL-c | HDL-コレステロール | 男38~90 女48~103 | mg/dL | 動脈硬化性疾患の危険因子の有無を調べる。善玉コレステロール |
| LDL-c | LDL-コレステロール | 65~163 | mg/dL | 動脈硬化性疾患の危険因子の有無を調べる。悪玉コレステロール |
| TG | トリグリセリド(中性脂肪) | 男40~234 女30~117 | mg/dL | 肥満や動脈硬化性疾患の診断や経過の判定に用います。 食後に上昇することがあります。 |
| AMY | アミラーゼ | 44~132 | U/L | 膵臓疾患や唾液腺疾患で上昇することがあります。 |
| P-AMY | P-アミラーゼ | 16~52 | U/L | 膵臓疾患で上昇することがあります。 |
| CK | クレアチンキナーゼ | 男59~248 女41~153 | U/L | 筋疾患や心筋疾患で上昇することがあります。 |
| CK-MB | クレアチンキナーゼ-MB | ~12 | U/L | 心筋疾患で上昇することがあります。 |
| Fe | 鉄 | 40~188 | μg/dL | 貧血の病態把握に用います。 |
| UIBC | 不飽和鉄結合能 | 男81~353 女126~388 | μg/dL | 貧血の診断指標に用います。 |
| TIBC | 総鉄結合能 | 150~500 | μg/dL | 貧血の診断指標に用います。 |
| フェリチン | フェリチン | 男22.5~233 女7.9~75.3 | ng/mL | 鉄の貯蔵状態を反映します。 |
| ミオグロビン | ミオグロビン | ~65 | ng/mL | 筋疾患や心筋疾患で上昇することがあります。 |
| GLU | 血糖 | 73~109 | mg/dL | 糖尿病の診断指標に用います。食後に上昇することがあります。 |
| HbA1c (NGSP) | ヘモグロビンA1c(NGSP) | 4.9~6.0 | % | 過去1~2ヶ月間の血糖コントロール状態を反映します。(国際標準値) |
| グリコアルブミン | グリコアルブミン | 11~16 | % | 過去1~2週間の血糖コントロール状態を反映します。 |
| 高感度トロポニンI | 高感度トロポニンI | 26.2以下 | pg/mL | 心筋疾患で上昇することがあります。 |
| BNP | 脳性ナトリウム利尿ペプチド | 18.4以下 | pg/mL | 心機能の診断指標に用います。 |
| 亜鉛 (Zn) | 亜鉛 | 80~130 | μg/dL | 味覚障害や亜鉛不足を調べます。 |
| CRP | C反応性蛋白 | 0.14以下 | mg/dL | 炎症や組織の損傷・破壊の程度を反映します。 |
| ASLO | 抗ストレプトリジン-O | 166以下 | U/mL | A群溶血連鎖球菌への感染を調べます。 |
| RF | リウマトイド因子 | 15以下 | IU/mL | 関節リウマチの診断指標に用います。 |
| IgG | 免疫グロブリンG | 861~1747 | mg/dL | 免疫系が関与する疾患の診断・経過観察に用います。 |
| IgA | 免疫グロブリンA | 93~393 | mg/dL | 免疫系が関与する疾患の診断・経過観察に用います。 |
| IgM | 免疫グロブリンM | 男33~183 女50~269 | mg/dL | 免疫系が関与する疾患の診断・経過観察に用います。 |
| C3 | 補体第3成分 | 73~138 | mg/dL | 免疫系が関与する疾患の診断・経過観察に用います。 |
| C4 | 補体第4成分 | 11~31 | mg/dL | 免疫系が関与する疾患の診断・経過観察に用います。 |
| KL-6 | シアル化糖鎖抗原KL-6 | 500未満 | U/mL | 間質性肺炎の診断指標に用います。 |
| M2BPG i | Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体 | 1.00未満 | COI | 肝臓の繊維化進展の診断補助となる検査です。 |
| sIL-2R | 可溶性IL-2レセプター | 122~496 | U/mL | リンパ系腫瘍の病勢や治療効果の評価に用います。 |
| FT3 | 遊離トリヨードサイロニン | 1.88~3.18 | pg/mL | 甲状腺機能を調べます。 |
| FT4 | 遊離サイロキシン | 0.70~1.48 | ng/dL | 甲状腺機能を調べます。 |
| TSH | 甲状腺刺激ホルモン | 0.35~4.94 | μIU/mL | 甲状腺機能を調べます。 |
| インスリン | インスリン (IRI) | 5~10 | μU/mL | 糖尿病の診断・病態把握・耐糖能異常の原因鑑別に用います。 |
| CPR | C-ペプチド | 血清0.78~5.19 蓄尿23.74~206.96 | ng/mL μg/day | 糖尿病の診断・病態把握・耐糖能異常の原因鑑別に用います。 |
| コルチゾール | コルチゾール | 血清3.7~19.4 蓄尿4.3~176.0 | μg/dL μg/day | 脳下垂体および副腎に関連する疾患の診断に用います。 |

| 検査項目 | 基準範囲 | 単位 | |
|---------------|--------------------|--------------------------|--|
| A F P | α-フェトプロテイン | 10未満 | ng/mL 肝臓系腫瘍の診断指標に用います。 |
| C E A | 癌胎児蛋白 | 5以下 | ng/mL 腫瘍の診断指標に用います。 |
| C A-19-9 | 糖鎖抗原19-9 | 37以下 | U/mL 膵臓や肝臓系腫瘍の診断指標に用います。 |
| C A-125 | 糖鎖抗原125 | 35以下 | U/mL 卵巣腫瘍の診断指標に用います。 |
| P S A | 前立腺特異抗原 | 4以下 | ng/mL 前立腺腫瘍や前立腺肥大の診断指標に用います。 |
| P I V K A-Ⅱ | P I V K A-Ⅱ | 40以下 | mAU/mL 肝臓腫瘍の診断指標に用います。 |
| H C G | ヒト絨毛性ゴナドトロピン | 5未満 | mIU/mL 妊娠の診断指標、絨毛性疾患の診断指標に用います。 |
| 梅毒RPR | 梅毒反応RPRテスト | 1.0未満 | RU 梅毒の診断指標に用います。 |
| T P L A定性 | 梅毒反応T P L Aテスト | 0.5未満 | COI 梅毒の診断指標に用います。 |
| H B s 抗原 | B型肝炎ウイルスs抗原 | 0.05未満 | IU/mL B型肝炎ウイルスへの感染を調べます。 |
| H B s 抗体 | B型肝炎ウイルスs抗体 | 10.0未満 | mIU/mL B型肝炎ウイルスの抗体の有無や既往を調べます。 |
| H B c 抗体 | B型肝炎ウイルスc抗体 | 1.00未満 | S/CO B型肝炎ウイルスへの感染や既往を調べます。 |
| H C V 抗体 | C型肝炎ウイルス抗体 | 1.00未満 | S/CO C型肝炎ウイルスへの感染や既往を調べます。 |
| H C Vコア抗原 | C型肝炎ウイルスコア抗原 | 3.00未満 | fmo1/L C型肝炎ウイルスへの感染を調べます。 |
| H I V 抗原/抗体 | H I V免疫不全ウイルス抗原・抗体 | 1.00未満 | S/CO H I V感染の可能性を検査します。 |
| 白血球数 | 白血球数 | 3.3~8.6 | 10 ³ /μL 炎症、感染症・血液疾患などの診断・経過を調べる検査です。 |
| 赤血球数 | 赤血球数 | 男4.35~5.55 女3.86~4.92 | 10 ⁶ /μL 貧血や多血症の有無を調べる検査です。 |
| H b | 血色素濃度 | 男13.7~16.8 女11.6~14.8 | g/dL 赤血球中のヘモグロビン量を測定し、貧血や多血症を調べる検査です。 |
| ハマトクリット | ハマトクリット | 男40.7~50.1 女35.1~44.4 | % 血液中に占める赤血球の割合を調べる検査です。 |
| M C V | 平均赤血球容積 | 83.6~98.2 | fL 貧血の分類を調べる検査です。 |
| M C H | 平均ヘモグロビン量 | 27.5~33.2 | pg 貧血の分類を調べる検査です。 |
| M C H C | 平均ヘモグロビン濃度 | 31.7~35.3 | g/dL 貧血の分類を調べる検査です。 |
| 血小板数 | 血小板数 | 158~348 | 10 ³ /μL 出血を止める働きなどを調べる検査です。 |
| 網状赤血球 | 網状赤血球 | 0.8~2.2 | % 赤血球の生産能力を調べる検査です。 |
| 血沈 1時間値 | 血沈 60分値 | 男2~10 女3~15 | mm/h 炎症や慢性疾患の経過などを調べる検査です。 |
| 血液像 | 血液像 | | 顕微鏡で白血球の形態を観察し、分類を行う検査です。 |
| S t | 好中球杆状核球 | 0.5~6.5 | % 感染防御などの働きに関与しています。 |
| S e g | 好中球分葉核球 | 38.0~74.0 | % 細菌などの感染防御や異物を取り除く働きに関与しています。 |
| E o s i n o | 好酸球 | 0.0~8.5 | % 主にアレルギー反応に関与しています。 |
| B a s o | 好塩基球 | 0.0~2.5 | % 主にアレルギー反応に関与しています。 |
| L y m p h o | リンパ球 | 16.5~49.5 | % 免疫反応や栄養状態に関与しています。 |
| M o n o | 単球 | 2.0~10.0 | % 主に免疫能に関与しています。 |
| A-L y m p h o | 異型リンパ球 | 0~1 | % ウイルス感染症などで出現することがあります。 |
| 出血時間 | 出血時間 | 2~5 | 分 血小板や血管壁の機能を反映します。 |
| P T | プロトロンビン時間 | 70~120 (12~16) | % (秒) 出血や止血機構の異常がどの部分にあるかを診断する検査です。薬剤投与で影響があります。 |
| A P T T | 活性化部分トロンボプラスチン時間 | 26.0~36.0 | 秒 出血や止血の異常を調べる検査です。 |
| F i b | フィブリノーゲン量 | 200~400 | mg/dL 炎症反応や肝機能などを調べる検査です。 |
| A T Ⅲ | アンチトロンビンⅢ | 80~120 | % 血栓症の診断や経過を調べる検査です。 |
| D-ダイマー | D-ダイマー | 0.5未満 | μg/mL 血栓症の診断や血栓溶解療法の経過を調べる検査です。 |
| 血中FDP | フィブリン/フィブリゲン分解産物 | 5.0未満 | μg/mL 血栓症の診断や血栓溶解療法の経過を調べる検査です。 |
| 尿定性 | | | |
| T P | 蛋白 | (-) | 腎疾患を調べる検査です。運動、発熱で陽性になることもあります。 |
| 糖 | 糖 | (-) | 血糖値が高いときに陽性になることがあります。 |
| 潜血 | 潜血 | (-) | 腎疾患や尿路疾患を調べる検査です。 |
| ケトン体 | ケトン体 | (-) | ケトン体の代謝を調べる検査です。 |
| ウロビリノーゲン | ウロビリノーゲン | (±) | 肝機能を調べる検査です。健康人でも少量認められることがあります。 |
| ビリルビン | ビリルビン | (-) | 肝機能を調べる検査です。 |
| 亜硝酸塩 | 亜硝酸塩 | (-) | 尿路感染症を調べる検査です。 |
| 白血球 | 白血球 | (-) | 炎症で増加することがあります。 |
| 尿沈渣 | | | |
| 赤血球 | 赤血球 | 1/HF以下 | /HF 腎、尿路系の出血を意味します。 |
| 白血球 | 白血球 | 男1/HF以下 女5/HF以下 | /HF 腎、尿路系、前立腺などの隣接臓器組織の感染症、炎症、アレルギー疾患の存在を意味します。 |
| 扁平上皮 | 扁平上皮 | 男1/HF以下 女5/HF以下 | /HF 外陰部、膣上皮の混入、尿道炎、尿道結石で認められます。 |
| 移行上皮 | 移行上皮 | 1/HF以下 | /HF 尿路感染、炎症、腫瘍、結石で認められます。 |
| 尿管上皮 | 尿管上皮 | 1/HF以下 | /HF 腎実質障害で認められます。 |
| 細菌 | 細菌 | (-) | |
| 便潜血免疫法 | 便潜血免疫法 | (-) | 便中の血液の有無を調べる検査です。 |
| 白血球 | 白血球 | (-) | 腸管内の炎症の有無を調べる検査です。 |
| 喀痰好酸球 | 喀痰好酸球 | (-) | 気管支アレルギーの検査です。 |

※ 検査の意味・目的は一般的なものであり、必ずしも検査値と症状が一致するとは限りません。

※ 検査値及び基準範囲は、検査試薬や測定方法により異なるので、他施設の検査値と違いがある場合があります。

※ 基準範囲は、性別や年齢により若干異なる事があります。

※ 検査結果の解釈について不安な点がありましたら、主治医に直接ご確認ください。